



アズ キング AZU-KING

NO.4

大納言小豆部会

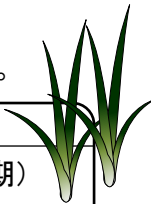
令和4年 8月26日

今年は何にかと降雨に悩まされる年です。8月頭に一部圃場で大雨の被害を受けたところでしたが、その後20日にも猛烈な雨が降り、「記録的短時間大雨情報」が発表されました。今後も排水溝の手直し等、対策はしっかりと行って栽培に取り組みましょう。管内の大納言小豆の生育状況は、一部で大雨・多雨による湿害が見られましたが、その他は概ね順調です。多雨により土壌水分が高いことで、イネ科雑草(ヒエ)が散見される圃場があります。早期の除草剤散布と小豆の生育や害虫の発生に応じた栽培管理を行いましょう。

大納言小豆の栽培ポイント

1. 雑草管理 多雨により雑草の生育が旺盛になっています。早めの除草剤散布を行いましょう。

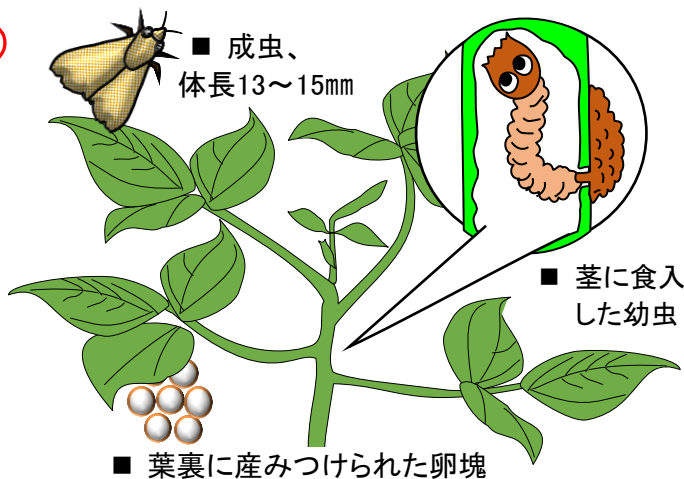
雑草区分	除草剤名	使用量(使用回数)	雑草生育期
イネ科雑草(ヒエ)	ポルトフロアブル	200~300ml/10a (1回)	イネ科雑草(3~8葉期) 収穫50日前まで



2. 基幹防除(アズキノメイガ・ヨトウムシ)

例年、8月下旬~9月中旬に「アズキノメイガ」が発生します。発生に注意して2~3回の防除を行いましょう。

※散布初回の適期は、開花前の8月下旬~9月上旬です。適期をのがさず葉の裏側まで薬剤がかかるように散布しましょう。



◆ 防除薬剤(アズキノメイガ・ヨトウムシ)

農薬名	希釈倍数	使用量(10a)	使用時期	使用回数
カスケード乳剤	4000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内
フェニックス顆粒水和剤	2000~6000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内

3. 追肥 【追肥の目安:小豆の生育が小さい。草丈20cm未満場合は開花初期までに肥料散布。】

◆ 粒状:アグリフラッシュ444 20 kg/10 a

- 朝露がなくなってから施肥する
- 降雨前や中耕前の散布が効果的

◆ 液肥:花吹雪 1000 倍

- 花芽の充実、莢付きに効果あり
- 葉面散布(殺虫剤「カスケード乳剤」「フェニックス顆粒水和剤」との混用が可能)

4. 8月~9月栽培管理表

栽培管理	8月		9月	
	下旬	中旬	上旬	中旬
雑草対策	除草剤散布			
基幹防除	防除1回目		防除2回目	
その他	排水対策	追肥	● 生育不足 ● 花芽の充実	

今回の大納言小豆部会だより『アズ・キング』は「福井北部支店」が担当しました。